

# 市議会だより

DAISEN CITY COUNCIL NEWS



## 秋田名産「きりたんぼ」を作りました

協和保育園のきりん組さん14人が、あきたこまちの新米で、きりたんぼ作りに挑戦しました。ラップを使いながら上手に出来上がり、みそたんぼと鍋で、おいしく頂きました。



### (ちょっとみちくさ)

神岡中川原コミュニティ公園の冬撮ったのは、曇りの日の朝、運が良ければ白鳥の姿も見えます。水辺に写る神宮寺嶽の雄姿が美しい。

写友「嶽」代表 古屋貞志氏 提供

## 主な内容

## CONTENTS

- 新年のあいさつ、第4回定例会等概要 2～3
- 6人の議員が一般質問 4～6
- 委員会審査のあらまし、決算審査報告、陳情 7～9
- 市政懇談会報告 10～11
- 中学生議会 12～15
- 市民の声、歴史巡り・花巡り 16



大仙市議会  
議長 橋村 誠

## 活力に溢れた魅力ある 議会を目指して

市民の皆様には、希望に満ちた輝かしい平成26年を迎え、ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

また、平素より市議会に対し温かいご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年9月には従来の定数から2人減の28人で市議会議員選挙が行われ、その後議長に就任し3カ月余りが経過いたしました。市民の負託に応えるという初心に立ち返り、より身近で開かれた議会運営に努めているところであります。

このところの社会情勢は、景況感が幾分持ち直しつつあるとは言われているものの、本年4月から実施される消費税増税、T P P交渉の行方、さらには5年後の減反廃止に伴う補助金の見直しといっ

た農業政策の大きな転換など、大仙市の将来を左右しかねない方針が打ち出され、依然不透明な状況が予想されます。

市議会といたしましても、広範な情報の収集・把握に努めるとともに、状況を的確に判断していく必要があると考えております。また、地方分権社会に即した議会改革にも引き続き取り組み、活力に溢れた魅力ある議会を目指してまいりる所存であります。

新年早々には、市議会が提案した大仙市として初の試みとなる「中学生議会」を、市と教育委員会の協力により開催することができました。将来を担う若い世代が身近な問題を通して市政により関心を持ち、この体験を今後の様々な活動に活かしてくれることを期待するものであります。

今年、大仙市が誕生して10年という節目を迎えます。これまでの取り組みをさらに成熟させ、市民ニーズに応えるべく市当局とともにより一層尽力してまいりる決意であります。

結びにあたり、市民の皆様のご多幸を祈念申し上げます。あいなさつといたします。

## 第4回定例会

11月28日(木)～12月17日(火)20日間

第4回定例会は、11月28日に招集され、12月17日までの20日間の会期で開かれました。本会議第1日は、人権擁護委員2名の再推薦に同意した後、当局から条例案11件、単行案6件、予算案12件が上程されました。本会議第2日目は、4氏が一般質問を行い、市政全般にわたって市当局の見解を質しました。本会議3日目は、2氏による一般質問のあと、半道寺地区簡易水道改修事業に係る補正予算が追加提案され、第1日目の上程議案と陳情4件合わせ、各常任委員に審査付託されました。本会議第4日目の最終日は、各常任委員長報告のあと、13議案に対する反対討論があり、採決では全議案が可決されました。また、陳情は1件を不採択とし、採択された3件については関係機関に意見書を提出しました。さらに、議事日程に、副市長の選任について追加提案され、久米正雄氏を全会一致で同意しました。主な議案の内容は次の通りです。

### 人事案

#### ▼副市長の選任について

(全会一致で同意)

久米正雄氏

(再任・藤木字乙本藤木)

#### ▼人権擁護委員の候補者の推薦につき

き意見を求めることについて

(全会一致で同意)

鈴木祐子氏 (再推薦・大曲緑町)

杉山美紀子氏 (再推薦・角間川町)

### 条例案・単行案

#### ▼大仙市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

(賛成多数で原案可決)

一般職の職員の給与に関する法律の改正により、国家公務員は50歳代

後半層の給与上昇を抑制する措置が講じられたことに伴い、市の職員も勤務成績が特に良好である場合を除き55歳を超えた職員の昇給を停止するものです。

#### ▼大仙市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

(賛成多数で原案可決)

配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律改正に伴い、実際相手からの暴力を受けた者を対象に加えること。また、消費税増税に伴い、市営住宅の駐車場使用料を笑の口住宅は3千円/月を3,080円に、船場町、神岡AD棟、EF棟、GH棟及び北ノ沢住宅は1,300円を1,330円に改定するもの。

▼大仙市子ども・子育て会議条例の制定について  
(全会一致で原案可決)

子ども子育て支援に関する事業計画の策定に係る合議制の付属機関として設置するもので、会議の委員は15人以内で、子どもの保護者、事業主・労働者の代表、子ども子育て支援に関する事業に従事するもの、学識経験者などから市長が任命するものです。

▼消費税法及び地方税法の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

(関連議案4件賛成多数で原案可決)  
同議案は①「総務部及び市民部に係る・・・」(5条例)②「企画部及び農林商工部に係る・・・」(39条例)③「健康福祉部、生涯学習部及び市立大曲病院に係る・・・」(42条例)④「建設部、上下水道部及び水道局に係る・・・」(15条例)の4議案で上程されました。

いずれも、各条例に規定されている公共施設の使用料や利用料について、平成26年4月1日から、消費税増税に伴い引き上げる改定を行うものです。

▼指定管理者の指定について

(関連議案5件全会一致で原案可決)

①協和モーターサイクル場は秋田県モータースポーツ振興会を、②大仙市ふれあい体育館等は株式会社

オーエンズを、③大仙市南外体育館等は厚生ビル管理株式会社を、④大曲駅東駐車場等はテルウェル東日本株式会社を、⑤南外ふれあいパークは厚生ビル管理株式会社を、それぞれ指定管理者として指定するものです。

補正予算

▼平成25年度大仙市一般会計補正予算(第5号)

(賛成多数で原案可決)

歳入歳出総額に2億7,586万6千円を追加し、補正後の総額を494億4,221万7千円とするものです。

補正の主なものは、国から交付される地域の元氣臨時交付金を26年度当初予算建設地方債の代替財源にするための基金積立金に1億5,813万5千円。更生医療、育成医療対象の自立支援医療給付費の増額補正3,805万4千円。太田地域の認定子ども園化に要する経費や市内32園の保育士等処遇改善のための補助金、保育所、幼稚園合わせ4,471万7千円。市内事業所の新規雇用に助成する雇用助成金に1,100万円、米菓生地納入先の工場閉鎖で減益に陥った株式会社物産中仙に増資する第三セクター出資金に3千万円の増額補正。議員報酬及び期末手当は1,509万円の減額補正。

第5回臨時会

11月6日(水)～11月12日(火)7日間

▽反対討論【佐藤文字議員】

平成25年第5回臨時会が11月6日に7日間の会期で招集され、工事請負契約の締結案件2件、補正予算(案)2件、平成24年度一般会計歳入歳出決算等の決算案件18件が上程され、認定、原案可決されました。主な議案の内容は次の通りです。

▼工事請負契約の締結について

(全会一致で原案可決)

西部学校給食センター建設に伴う工事請負契約案件で、建築工事が3億9,150万円で、荒屋敷・高吉・高禮特定建設工事共同企業体と、機械設備工事が、1億6,934万4千円で、朝日水道・田村燃料特定建設工事共同企業体と契約を締結するものです。

▼平成25年度大仙市一般会計補正予算(第4号)

(全会一致で原案可決)

歳入歳出の総額に2億3,360万2千円を追加し、補正後の総額は491億6,635万1千円となるもの。補正の内訳は、福祉灯油購入費助成事業費2,284万8千円、峰山荘移転改築事業費補助金2億1,075万4千円の増額補正。

▼平成24年度大仙市一般会計歳入歳出決算の認定について

(賛成多数で認定)



▲移転改築される峰山荘の外観

平成24年度一般会計予算審議にあたり、私は政府予算が消費税増税を前提とする一方で年金削減、後期高齢者医療及び介護保険料の大幅値上げ、年少扶養控除の廃止や特定扶養控除縮減による住民税の大幅な増税、地方交付税削減の一環として単独一般行政経費や給与関係費の削減など、社会保障の切り捨てと地方財政を厳しく抑制したものであり、こうした国の地方財政計画に従い、市職員数と給与の削減や各種福祉サービス、住宅リフォーム助成上限額の縮減など、住民サービスの後退が見られるとして反対をしたものである。本決算は、その執行であり、賛成はできないものである。



だいせんの会  
佐藤芳雄 議員

Q 減反政策の廃止についての対応は

A 国へ、さまざまな経営形態に配慮した政策の実現を求める

**質問** 米作りの自由度を高め、農家の経営力強化を図る一方で、主食用米から飼料用米などへの作付誘導を進める狙いがあり、戸惑いや不安を抱く農家は少なくないと思われるが、いかがか。

**市長** 米の生産調整は、およそ半世紀にわたり農政の根幹を成してきた政策であり、この政策を遵守し生産調整に協力してきた農家を支援しながら、国に対しては経営規模の小や法人・個人経営などのさまざまな経営形態に配慮した政策の実現を求めていきたい。

**質問** 小規模兼業農家の多くは中山間地の条件不利地域で農業を営んでいる。農業収入を失い、転居する農家も出てくるのではないか。地域コミュニティの崩壊に繋がる懸念される、市長の考えを伺う。

**市長** 経営の大規模化とあわせ、中小農家の支援を進めてきた。転作奨励金制度と併せ、農地の維持、コミュニティの形成の両面から施策を考えていかなければならない。今後は、県の農業・農村元氣創造推進本部や地域振興局を中心とした支部と

運動して進めていきたい。

投票率の向上対策について

**質問** 本市の投票率は県平均より下位に低迷している、投票率を向上させる案があれば示していただきたい。

**総務部長** 近年は、国政選挙、地方選挙とも全国的な傾向として投票率が下がる傾向にあり、投票率の低下は当市に特異の減少ではなく、若年層の選挙離れなど社会要因によるものと推測している。今後の対策として、当面は投票が好調な期日前投票を推進し、20歳代30歳代を含めた期日前投票者を増やしていきたい。また、選挙時以外においても大仙市明るい選挙推進協議会と連携のもと、直接有権者に投票参加の呼びかけを行い、選挙に関する話題性や候補者に関する情報を、目にする機会が多くなるよう配慮し、市のホームページ等を活用し情報提供するなどの方策により、投票率の向上に努めていきたい。

### 一般質問



大地の会  
金谷道男 議員

Q 圃場整備事業を推進するため市の対応財源の見通しは

A 財源については、過疎対策事業債等有利な起債を活用しながら計画どおり事業を推進

**質問** 圃場整備事業に農業者が取り組みを判断する要因に補助金の見通しがある。大仙市総合計画及び実施計画で財政的に事業費も見通した確保がなされているのか。

**市長** 本市で圃場整備事業は13地区で事業実施、今後14地区で計画されている。事業の推進にあたっては、参加農家の要望と事業主体である県の整備計画のもとに、市財政計画及び総合計画実施計画との調整を図りながら進めてきた。今後の採択予定地区においても、関係機関と連携を図り効率よい事業推進に努めるとともに、財源については過疎対策事業債など有利な起債を活用しながら、計画どおり事業を推進したい。

**質問** 新たな米政策の中で飼料用米生産支援が拡充されるようであるが、市としての対応策をどのように考えているのか。

**市長** 飼料用米に対する補助金の拡充は、稲作主体の当市農業において、水田の有効利用の一形態と感じている。しかし、販路や流通など需給体制や環境整備が不十分で、主食用米を含め需給動向も不透明な状況

において、飼料用米作付けを推進していくことは、より慎重に対応していく必要がある。今後の飼料用米に対する補助金の拡充の決定や関連する環境整備等の動向を見極めた上で個々の農家が混乱することのないように、又、より有利な選択ができるように対応する。

地域版総合振興計画の見直しを

**質問** 合併後の課題である周辺地域振興のために地域版総合計画を住民が共有し、進む方向がわかる道しるべとなるように見直すべきと思うが。

**市長** 地域振興計画は、大仙市総合計画との整合性を保ちつつ、各地域協議会ごとに地域の課題や目指すべき方向性を洗い出し、地域予算で対応する取り組みを明らかにすることを目的に策定されたものである。この計画の見直しについては次期総合計画策定と併行して、計画の位置づけや、市民との情報共有のあり方を含めて検討する。



大地の会  
石塚 柏 議員

Q 物産中仙(株)の赤字が続いているが再建が可能か

A 3千万円の資本を注入して赤字を解消したい

**質問** 花館バーデンという民間の温泉があったが閉鎖に追い込まれた。同じ時期にすぐ隣に第三セクターの「嶽の湯」には1億円を超す、財政支援で補修工事を行なっていた。

**市長** 民間企業は第三セクターと比較しても雇用の確保、納税など社会的責任を果しているのだから、今後民業圧迫になる第三セクターを設立すべきでないと思うが市の見解は。

**質問** 「認定こども園」は文部科学省所管の幼稚園、厚生労働省所管の保育園と一緒にする省庁の縦割りを超えた民営化と評価してよいと思うが。

**市長** 市の社会福祉施設は法人化することでも効率化を図り「大仙ふくし会」「大空大仙」は資金収支残高が1億2,900万円、5億2,500万円と黒字の実績である。また、両法人を合わせると102名の新規採用を行ない、雇用面でも貢献していると評価している。

**質問** 第三セクターの物産中仙(株)が市から3千万円の資本注入で経営危機を脱しようとしているが、その内容は。

**副市長** 物産中仙(株)は、中仙地域の特産品の「杜仲」をお茶や麺に加工・販売することを目的に資本金、2千万円でスタートした。赤字の米菓部門はこの10年で売上高が7億4,728万円、収支は累計で4,405万円の赤字である。今回は取引先と取引中止で発生した赤字を補てんする為に2千万円が必要になったところである。また今後、営業を続けていくには3千万円が必要なので、出資にご理解を願いたいところである。

**質問** 3年前にも2千万円の資金が必要だと資本注入を受け、更に3千万円の資本金があると市に求めているが、その経営責任は。

**副市長** 経営再建にかかる資本注入として出資を行なう事を理解して頂きたい。大幅な経費削減による経営の見直しを行ない、従業員のパートへの切り替えや季節従業員の雇用で人件費比率の引き下げに努め、年間で概ね2百万円の経常利益を目標としている。

**質問** 今後、物産中仙で再度、資金ショートした場合はどうするか。

**副市長** 計画の目標達成のため社員一同取組んで参りますが、資金ショートした際は、改めて協議させて頂きたいと考えている。

一般質問



日本共産党  
藤田和久 議員

Q 防災対策、計画の見直しが必要では

A 地域防災計画を策定中。26年3月頃には公表できる見通し

**質問** ①異常気象に対応した防災対策、計画が必要ではないか。

**市長** 平成23年6月の大雨による水害を受け、丸子川周辺への常設排水ポンプの整備、可搬式ポンプの増設、雄物川の築堤、河川改修、福部内川の堤防嵩上げ工事などで対応したい。

**質問** ②竜巻、台風、大雪、地震対策については。

**市長** 23年の東日本大震災の教訓を踏まえ地域防災計画の策定を進めており、26年3月頃には公表できる予定。

**質問** ③危険区域の周知徹底と危険箇所への掲示を検討せよ。

**市長** 危険箇所は504箇所、うち人家に近く危険度の高い箇所は住民説明会を、全市的にはハザードマップを作成し全戸配付の予定。また、危険箇所には看板設置を行う予定。

**質問** ④災害予測情報、災害速報などの方法と避難勧告、避難場所、救援対応などは。

**市長** 防災ネット大仙の活用その他、携帯電話会社との契約、マスク

ミ各社、コミュニティFMとも協定を結ぶ予定。避難勧告等については現在検討中。

**質問** ⑤福見町、中通町の水害対策は。

**市長** 雄物川の河川改修が進められており、今年度50億円を確保した。また、福部内川の堤防嵩上げや河川改修も計画している。

**質問** 子どもの医療費、中学卒業まで無料にせよ。

**市長** 昨年の入院助成がまだ1年しか経過してないので、現時点では見直しは考えていない。

**質問** 高齢者等除雪サービス事業について、農家の若手による冬期除雪隊の組織を。

**市長** 本年度は総合防災課所管の空き家対策と連携し冬期間8名の臨時職員を雇用し対応する予定。  
**質問** 高齢者等除雪サービス事業、留守家庭の場合でも利用できないか。  
**市長** 入院などで生活者不在の場合には対象外とさせていたでいてい。退院時などは相談に乗りたいと考えている。



市民クラブ  
細谷洋造 議員

Q 桜守プロジェクトの推進と緑化運動について

A 7月12日に八乙女公園にて「2014・あきた水と緑の森林祭」を開催

**質問** 桜守プロジェクトの事例紹介の推進と今冬の「食害対策」について伺いたい。

**市長** 平成21年度から市の基本理念である「市民との協働によるまちづくり」のモデルケースとして桜の保全と活用を図る仕組みを確立することで、地域の桜を後世に残していくことを目的に推進している。数多くの団体からプロジェクトに取り組んでいただいております。桜守プロジェクトを一層推進していきたい。ウソクによる食害については、県知事の許可を得た上で、被害状況を確認し、地元猟友会の協力の下、対応していく。

**質問** 緑化運動の行事とはどのようなものか伺いたい。

**市長** 7月12日に八乙女公園を会場に「2014あきた水と緑の森林祭」が開催される事が決定され、当日は500人規模の参加者を予定しており、合併10年目の記念植樹や大仙市らしいイベントを計画していきたいと考えている。

神岡（新道地区）の堤防の早期連結を！

**質問** 間倉築堤神岡地区の進捗状況を伺う。

**市長** 国土交通省では関係者と鋭意交渉中で、合意を得られる事を前提に協議を継続していると伺っている。市としても、合意に向け協力を惜しまないことを国土交通省へ伝えている。

※細谷議員は、これらの他に、「神岡野球場のスコアボードの電光掲示板への改修について」「選挙時の投票所設置箇所、期日前投票の場所と対応について」「市役所職員の給与及び待遇の協議について」の質問も行いました。



▲八乙女公園の桜

一般質問



日本共産党  
佐藤文子 議員

Q 住宅リフォーム支援事業の改善を求める

A 再び補助を受けられるよう交付基準を予算編成において検討する

**質問** ①現在の補助対象である環境対策、省エネ、バリアフリー、耐震以外の一般改修工事に対して「10万円以上の工事」「20%補助」「限度額20万円」というような緩和策を講じるよう要望するがどうか。

**市長** 対象工事が全体改修工事費の10%助成を受けられる制度になっているため一般改修工事についても有効に活用していただいているものと考えている。

**質問** ②障害者手帳の交付や要介護認定及び住民税非課税世帯に該当する場合は補助率30%、限度額30万円に引き上げるよう要望するがどうか。

**市長** 特定世帯への補助率アップ等の福祉政策としての住宅に対する支援は福祉部門においても既に実施している事業もあり、それぞれの目的に沿った事業を利用していただきたい。

**質問** ③一度に多額の工事費を工面できない方のために、過去に補助を受けても工事内容が異なる場合には再び補助を受けられるよう要望するがいかかがか。

**市長** 現在の要綱では過去の利用者は再度補助を受けられない。一方秋田県では過去に限度額に満たない補助を受けた場合、限度額に到達するまでは重複交付が受けられる制度になっている。市もある程度歩調を合わせて利用しやすい制度にするよう、再び補助を受けられる交付基準について今後の予算編成において検討していきたい。

**質問** 介護保険見直しで、要援護者へのデイサービスや訪問介護を保障給付からはずそうとしているが、サービス後退や重症化への懸念など問題が多い。これまで同様、要支援者への保険給付を行うよう政府に要求してはいかかがか。

**市長** 必要な支援が受けられなくなるような介護保険制度の低下をもたらすものであると判断される時は、市長会等を通じて政府に要望していきたい。



## 総務民生常任委員会

当委員会では、単行案5件、補正予算案3件、陳情1件の審査を行ない、単行案3件、補正予算1件については出席委員の一致を持って、単行案2件、補正予算案2件は出席委員の多数を持って原案可決とすべきものと決しました。条例案では委員から「55歳昇給停止に関連して勤務成績が特に良好である場合に限り昇給を行うことができるとなっているが、特に良好との判断基準と対象者がいるものなのか」との質疑があり、当局から「一般職の職員については人事評価制度を試行しているが、現在は給与に反映させるところまでには至っていない、制度の導入になれば5段階評価によってこれを昇給に反映させることになる。このため現在のところ特に良好と区分される職員はいない」との答弁でした。補正予算審査では委員から「来年度の国保税の税率見直しはどうか」の質問には「現在平成26年度の予算編成中と言うことで、26年度から5年間の計画を作成中であるが、現在の経済情勢や4月からの消費税増税を考慮し、又財政調整基金等の活用も視野に入れ、この後26年度当初予算において方向付けしたい」との答弁でした。討論において55歳以上の昇給を原則停止するべきでない。又、消費税増税に関連する内容を含む予算には反対するとの発言がありました。陳情については継続審査、採択、不採択の意見がありました。採決の結果不採択すべきものと決しました。

委員長 金谷道男 記

## 企画産業常任委員会

当委員会では、条例案2件、単行案1件、補正予算案1件、陳情1件を審査しました。

条例案では、委員から「公共施設の利用料金は何を基準に設定されているのか」との質疑があり、当局からは「施設の規模や建設時期、設備の内容によって利用料金を定めている」との答弁がありました。討論では「公共施設への消費税増税には賛成できない」との反対討論があり、採決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

つぎに、補正予算案では、委員から中仙物産株式会社に対する出資金について「生地販売が中止になった東雲堂自体は倒産したのか」との質疑があり、当局からは「平成25年2月に製造工場の閉鎖に伴い、生地販売の取引がなくなったが、東雲堂自体は倒産していない。製品の販売を行っていることから今後も引き続き取引を継続していく予定である」との答弁がありました。討論はなく、採決の結果、原案のとおり可決されました。

その他、条例案1件及び単行案1件についても、原案のとおり可決すべきものと決しました。

陳情については、その願意を妥当と認め、全委員一致で採択すべきものと決しました。

委員長 高橋幸晴 記



▲第3セクターが運営する物産中仙（株）

## 教育福祉常任委員会

子ども・子育て会議条例の制定については、「子ども条例と密接に関係するのか」との質疑があり、「密接に関係し、会議条例での支援事業計画を子ども条例の基本計画とみなすこととしている。」との答弁がありました。また、南外体育館等の指定管理者の指定については、委員から「体育館の利用について、以前は地元の子供達を優先的に使わせていたが、指定管理者になってから有料の人達を優先している話を聞く、大会等に向けて頑張っていることから、小中学生に優先して使わせることはできないか」との質疑があり、「今後利用者調整会議等の際に指定管理者側と調整を図り意見を十分反映していく」との答弁がありました。法人立保育所、法人立幼稚園への補助金については、委員から「保育士の処遇改善のための補助金だが、臨時職員等も該当になるのか」との質疑があり、「調理員や臨時職員など全員が該当になる。また、毎月の賃金に反映されるのではなく、一時金としての支給となる」との答弁がありました。中仙給食センターの工事については、委員から「文部科学省の調査を受けて工事を行うようだが、他のセンターについて同様の修繕は必要なのか」との質疑には、「今回トイレの個室に手洗い場の設置等をするものであるが、他のセンターについては手洗いの徹底で対応しながら、同様の改修を検討していく」との答弁がありました。討論はなく、9件の議案全てを原案のとおり可決すべきものと決しました。

委員長 小山緑郎 記

## 建設水道常任委員会

当委員会では、条例案2件、単行案2件、補正予算案8件を審査しました。

条例案は、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の改正により「大仙市営住宅条例」を改正するもの、また、消費税が3%増税される事による住宅の駐車場使用料や公園使用料、水道使用料等を改正するものです。委員から「住宅の入居申し込みを2回、3回しても入居できない方の対処は」との質問があり、「住宅の困窮度を点数にして、多い方から入居の対象としているが、2回3回と申し込む方へは加点をしている」との答弁がありました。また、使用料等の改正では、委員から「水道料金と下水道料金の統一の時期は」との質問には「簡易水道料金は平成31年4月から、下水道料金は一部を除き平成29年度からとしている」との答弁がありました。単行案は指定管理者の指定で、大曲駅東駐車場等はテルウェル東日本（株）、南外ふれあいパークは厚生ビル管理（株）を指定するものです。補正予算案は市道の維持補修費と住宅リフォーム支援事業費及び簡易水道の改修費の増額補正が主であります。

採決の結果、12件すべてを原案可決すべきものと決しました。

委員長 千葉 健 記

## 平成24年度決算を認定

### なお一層の 財政健全化を!



第5回臨時会で審査内容を述べる  
本間輝男決算特別委員長

#### 決算審査を終えて

「大仙市議会基本条例」の本旨にのっとり、監視と評価の機能を有する議会の使命を果たすべく、各分科会審査及び全体会審査を慎重かつ詳細に行いました。本年度は、議員の改選があったため、臨時会を開催しての審査でありました。当局へは、収入未済額を審査するための資料、「計画・実行・評価・改善」という仕事の流れが見える資料などの提出を求めました。

全体的な講評として、平成27年度以降の合併特例期間の終了後は、地方交付税の大幅な縮減など、厳しい財政状況が続いていくものと思われることから、起債残高の縮減、経常収支比率の改善等、なお一層、財政

の健全化に努めていただきたいこと。また、各事務事業実施に当たっては、あらためてその事業の目的を確認し、より効果的、効率的な事業の実施に努めていただきたいこと。また、福祉・扶助費等の増加が見込まれ、効率的な施策が求められているので、時代に即した適切な対応に努めていただきたいこと。さらに、収入未済額については、収納率向上にむけて努力され、市民の公平性が保たれるよう配慮をしつつ、かつ、適法な手続によって、収入未済の解消になお一層努めていただきたいことを、当局へ要望しました。

平成26年度の予算編成への反映をはじめ、今後の各種施策の改善、また評価された施策の推進拡大に努めていただくことを望むものであります。

最後に、「人が生き人が集う夢のある田園交流都市」の進展を図るため、市当局と議会がお互いに努力を惜しまず市民からの負託に応えてまいりますと思うところであります。

#### ◆各分科会の主な決算審査意見は次のとおりです。

##### ◆総務民生分科会

①一般会計における財政状況は公債費負担適正化計画に沿いながら市債発行額の抑制等を図った結果、実質公債費比率及び将来負担比率が改善され、また財政調整基金が24億円を超えるなど、健全な方向に進んでい

る。しかし合併特例期間の期限を迎える平成27年度以降は普通交付税の大幅な縮減が見込まれるので、厳しい財政状況を全庁において共有し、引き続き財政運営の健全化に努められたい。

②子育て支援の充実として進めている医療給付扶助費（市単独上乗せ分）については、生活基盤の弱い世代にとつては医療費の自己負担分の助成は有効な事業であり、さらに少子化問題も克服できる事業と思われる。平成24年8月から中学生の入院費の助成も開始されており、子育ては平成25年度予算における重点施策と位置づけられていることから、財政状況を勘案しながら、今後、中学生の通院費の助成も検討していただきたい。

##### ◆企画産業分科会

①地域協議会関連経費について、委員の出席率を高めるための検討を行うとともに、各地域の研修会や全体研修会については積極的に開催していただきたい。

また、地元住民に事業目的の理解を一層深めていただくため、活動内容の周知に努められたい。  
②市民との協働によるまちづくりを推進するためにも桜守プロジェクト事業に力を入れ、今後も継続して進められたい。

##### ◆教育福祉分科会

①福祉事業の中で、過去数年間実施し利用率が30%台の事業については、根本的に見直しを行っていただきたい。同じ予算規模で事業を継続する場合でも、対象者の年齢引き下げや助成額の引き上げを検討するなど思い切った見直しを行い、市民に満足していただけるような内容で利用促進に努められたい。

②健康診断について、事業所や市の検診を受診できない世代の検診を新たに構築し、病気の早期発見・治療に結びつけ、さらなる市民の健康増進に努められたい。

##### ◆建設水道分科会

①道路維持管理費及び道路改良事業においては、不用額が発生しているが、本庁、支所間の調整を行い、できる限り市民の強い要望に応えられるよう、事業の推進に努められたい。

また、春先の陥没箇所による事故の賠償事件が、数回報告されているため、パトロールの強化とともに、大仙市職員全員から陥没等の情報が得られるよう検討されたい。

②下水道等の加入促進と分担金、使用料の収納率の向上を図るとともに、一般会計からの繰り入れの軽減に努められたい。併せて、下水道事業については、進捗率が低いことから、事業の見直しについて、早急に検討されたい。





# 「市政懇談会」でいただいた、 ご意見、ご要望について

昨年開催した「市政懇談会」において、市民の皆様からいただいた議会及び市政に関するご意見・ご要望については、それぞれ所管の常任委員会で協議した結果、大仙市議会として下記のとおり対応いたします。

なお、紙面の都合により一部の掲載とさせていただきます。全項目は協議がまとまり次第、ホームページに掲載してまいります。

【回答は大仙市議会としての回答です】

**意見・要望** 予算の執行について、中心地に偏っている。合併特例債が終わり、交付税が少なくなるとどうなるのか。(協和)

**回答** 大仙市全体が過疎へき地みなし地域に指定されており、現在は過疎債よりも有利な合併特例債を活用しております。

**意見・要望** 合併特例債はどの様に使われてきたのか。配分の中身を知らせてほしい。(南外)

**回答** 学校の耐震化等に使われており、今後交付税として市の財政に参入されてきます。

**意見・要望** 産業廃棄物交付金の環境保全基金について、産業廃棄物の関係で県からくる交付金の使途を明確にして欲しい。(協和)

**回答** 基金は毎年2,300万円が協和地域に限定で来ています。これまで佐土原交流事業や境地区の公園整備、美山湖の公園整備などに使われております。

**意見・要望** 地域防災計画に係る防災士の養成・育成、認定等について、及びその将来計画はどうなっているか。(神岡)

**回答** 災害に強いまちづくりとして、防災士の育成に取り組んでおります。組織の設立についても進展させる方向で今後委員会等でも検討してまいります。

**意見・要望** 空き家対策について、空き家が増えてきて、中には持

ち主に連絡がつかないところもある。雪下ろしに来るわけでもなく、倒壊しそうなところもあるので危険。今後も増加傾向にある中でどう



▲意見を述べている参加者 (仙北)

考えているか。(仙北)

**回答** 他地域では、自治会や自主防災組織で対応している。連絡が取れない空き家については市と連携を取りながら進めてやっております。

**意見・要望** 地域協議会について、設置目的や基準となるガイドラインを見直すべきと考えるがどうか。(西仙北)

**回答** 議会としても中身の見直しが必要と考えており、今後検討するよう市当局へ要望しております。今後は市当局へ要望を出していただけるような地域協議会の組織づくりにしたいて考えております。

**意見・要望** 農業法人、担い手の育成、農業の雇用に関わる法人や若い担い手の育成をしてほしい。また、国や県の情報をすぐに提供し、農家が対応できるようにして欲しい。(太田)

**回答** 農業法人を育成することで若い担い手の育成にもつながります。委員会等を通して市当局にも伝えてまいります。

**意見・要望** 企業誘致について、雇用場所の確保を行い、若者の働く場所の提供を進めてほしい。(藤木)

**回答** 神岡工業団地については、見通しがついてません。現在は6次産業化やメガ団地構想による農業関連の雇用の場の確保に期待しております。

**意見・要望** 仙北組合総合病院の駐車場無料化について、平鹿組合総合病院駐車場は無料となっているが、仙北組合総合病院駐車場も無料になるのか。(南外)

**回答** 駅前という立地条件や、近隣の民間駐車場との関係もあり、無料にするとは病院利用者以外の利用規制等の問題もでてくるが予想されます。今後無料化に向けて協議していただけるよう要望してまいります。

**意見・要望** 仙北組合総合病院駐車場関連について、駐車場が道路を挟んであるのはおかしい。福祉棟を駐車場にする予定でなかったのか。

敷地内に駐車場があるのが良い。(神岡)

**回答** 新病院とねむのき駐車場は、2階部分でつながります。道路を超えた駐車場は病院利用者以外の方も使える駐車場としての活用もありますのでご了承願います。

**意見・要望** 高齢化が進んで、高齢者の孤独、経済的な逼迫によるうつ病や自殺などこの問題が出てきている。現在行われている出前講座を小・中学校でも行い、命の大切さを教育して欲しい。(南外)



▲南外地域での市政懇談会

**回答** 市内の全中学校で臨床心理士の先生を招き、生徒や保護者、教師を対象に「思春期のこのころからだ」と題し講演会を行い、思春期特有の発達課題や対処方法等の知識や技術について、その理解や習得、こ

ころの保持に努めております。

**意見・要望** 小学校の統廃合について、少子化が進んでいるが、今後、小学校の統廃合の計画はあるか。(藤木)

**回答** 学校の統廃合については、地域の声を大切にしており、地域からの要望を踏まえ、協議してまいります。

**意見・要望** 成沢遺跡について文化財としての活用と保護経費の予算の確保をお願いしたい。(大川西根)

**回答** 成沢遺跡の展示室は平成25年8月に大川西根公民館内に開設しております。調査は終了したことから、今後は展示品をかえながら、多くの出土品を市民の皆さまにご覧いただけるよう、予算を確保してまいります。

**意見・要望** 中心市街地再活性化計画について、南街区に設置予定の子ども園について、収容人数、地域、その通園区の線はどう引かれているのか。(西仙北)

**回答** 通園区については、特に規定はなく、どの地域の子どもさんでも、入園できることになっております。

**意見・要望** 乳幼児健診場所について、保健センターで行われている健診は2階と3階を行き来しなければならず負担が大きい。また駐車場も狭いことから、代替場所で行って

欲しい。(南外)

**回答** 大曲の保健センターについては、建物も古く、エレベーターも設置されておらず、また、駐車場についても手狭であるため、健診日には職員等の車を駐車せず、1台でも多く、市民の皆さまに使用していただけるようにしております。施設は平成27年に大曲駅前に移転の予定です。

**意見・要望** 通学路について、計画的に舗装が進められていたが、昨年は工事されなかつた。残り300mくらいなので早く舗装してほしい。(仙北)

**回答** 正規の通学路であり、子どもたちの安全のため、今後実施する計画であります。現在仙北地域では、歩道の整備を中心に進めておりますので、議会でも注視し、協議してまいります。

**意見・要望** 消雪パイプ、井戸水の維持について 平成17年に消雪設備を新設したが、近隣に大型店舗や医療機関ができたため、井戸の水位が低下した。設置から20年以上経過しないとし新しい井戸には補助がでないことから、特例を設けるなど、お力添えをいただきたい。(はびねす大仙)

**回答** 建設水道常任委員会において、当局と協議し、検討してまいります。

**意見・要望** 下水道の普及について、下水道の普及率が低い。限界集

落は恩恵を受けていない。普及するのも仕事と考える。しかし他に困っている人もたくさんいる。このことについてどう考えているか。(はびねす大仙)

**回答** 多大な費用がかかっている事業で、集落排水を含め普及率が低いのが残念であり、繋ごうという意識も低く、浄化槽への移行も考えていかなければならないと考えております。

**意見・要望** 雄物川築堤、間倉無堤部分工事の進捗状況について、早期の完成を要望する。国交省湯沢河川国道事務所から市役所に訪問があると聞かすが、その内容をお示し願いたい。(神岡)

**回答** 国交省湯沢河川国道事務所に向い、市長自ら要望してまいります。今後市役所に説明に見えられれば工事費は用意される予定との内容と伺っております。

**意見・要望** 道路の補修について、中仙地域浮嶋バス停から大宮田に向かう道路に穴が開いている。要望するたびに応急処置はしてくれすが、自転車やバイクは危ない。(中仙)

**回答** 道路の穴は雪解け後、時期を決めて対応すべき問題であると考えております。当局では、パトロールを強化し、直ぐに対処するとしております。今後、議会でも注視してまいります。

# 中学生議会を開催

平成26年1月9日(木)に大仙市の議場で、合併後初めての中学生議会が開催されました。



▲議長校(南外中学校)の生徒

大仙市の未来を担う中学生が議長や議員となって、まちづくりや教育行政など、生徒に身近なテーマについて、一般質問形式で質問や提案を行い、市政や市議会への興味と理解を深めるとともに、その体験を学校生活や地域の行事などで役立てることにより、総合的な学力の育成を図ることを目的に開かれたもので、全市11校24名の代表が様々な質問をして、最後には決議案を採決し、可決しました。

主な内容と参加生徒の感想は次のとおりです。

## 南外中学校

### 感想文

今回初めて中学生サミットと中学生議会に参加して、私たちが住む大仙市について深く考えることができました。様々なことに目を向けて「大仙市の未来」について話し合う機会があつてよかったですと思います。たくさんの方の意見を聞いて、このまちはよりよくするためにどうすればいいのかを、これからも自分たちで考えていきたいです。大仙市のことだけではなく、秋田県全体まで視野を広げられるようにしていきたいです。

また、大仙市で初めて開かれた「中学生議会」の議長という大役を務めさせていただきました。始めは緊張しましたが、無事に終わらせることができましたので安心しました。二度と経験することのないような仕事だったので大きな達成感を味わうことができました。

今回中学生サミットと中学生議会でも話し合ったことを学校全体でも考えるようにしていきたいです。また、議長という大きな仕事を経験して学んだことをこれからの学校行事などに活かしていきたいです。

## 大曲中学校

年1回「大仙防災デー」を設け、避難所である中学校で住民と中学生が合同の訓練をすることを提案します。

(総務部長)「大仙防災デー」については、少し研究したいと思っています。各学校毎に、地域の方々と一緒に実施する防災訓練は大変意義のあることだと思います。是非、大仙市の防災担当者とは相談をいただき、学校と地域が一体となった訓練を計画していただきたいと思っています。

### 感想文

初の試みである大仙市中学生議会。市議会に私たち中学生が議員として参加させていただき、提案や質問の機会を得られました。とても貴重な体験をする事ができました。

市議会の方々に前になると、緊張感が高まりました。私自身、演壇に立つての発表はうまくできなかつたか分りません。しかし、各学校の堂々とした発表を聞いてみると、中学生の立場からでも、アイディアを出すことは大切なのだと気づかされました。

大仙市の未来を作っていくのは、若者です。私たちが大仙市民として、よりよく生活していくために、視野を広げて様々な角度から考える機会を持つことができたいです。

## 平成26年大仙市中学生議会参加者と質問通告内容

学校名	名前	役職	質問事項
大曲	伊藤 徹	生徒会長	・防災に関することについて
	渡邊さくら	生徒会副会長	
大曲西	阿部 駿汰	生徒会長	・国際交流に関することについて
	田口 愛菜	生徒会副会長	
大曲南	寺田 信	生徒会長	・公園等の維持管理に関することについて
	照井 毬乃	生徒会副会長	
	小場 心愛	生徒会書記	
平和	谷屋 開陸	生徒会長	・大仙市の活性化について
	三浦 優人	生徒会執行部員	
西仙北	佐々木 光	生徒会長	・大仙市の交通網に関することについて
	大塚 美優	生徒会書記	
中仙	藤田 隼平	生徒会副会長	・文化財の周知に関することについて
	高橋 悠菜	生徒会副会長	
豊成	池田さゆか	生徒会副会長	・地域の福祉や高齢者支援に関することについて
	相馬 啓人	生徒会副会長	
協和	小山田有希	生徒会副会長	・スポーツや文化に関することについて
	茂木佳奈子	生徒会執行部	
南外	伊藤 真央	生徒会長	※議長・副議長当番校により、質問無し。
	大槻 悠也	生徒会副会長	
	伊藤 栞	生徒会副会長	
仙北	小林 成輝	生徒会副会長	・ごみに関することについて
	本間 紫苑	生徒会副会長	
太田	小松 美結	生徒会長	・除雪に関することについて
	高橋 大翔	生徒会副会長	

**大曲西中学校**

留学生やALTRの先生、外国の中学生と交流する機会の充実について市の計画はありますか。

**(企画部長)** 韓国唐津市との

ホームステイやスポーツ交流、オーストラリアへの派遣、ALTRやCIRとの触れ合い、国際教養大学留学生との交流に取り組んでおり、今後も異文化を体験できる機会を作っていきます。

**感想文**

大仙市中学生議会に参加して、大仙市で行っている国際交流について良く分かりました。大仙市では、韓国との青少年交流や国際教養大学の人との交流などの交流活動をたくさん行っていることがよりよく分かりました。今後は、秋田大学国際資源学部ができ留学生が増え交流する機会が充実していき、大学をもっと身近に感じられるのはうれしいことです。私も自主的に参加していきたいと思います。

他の人の発言を聞いて、大仙市のゆるキャラを作る提案など、納得する事があったし、答弁を聞いて初めて知った大仙市の取

り組みがたくさんありました。これからは、大仙市の取り組みについて興味をもつて、よりよい大仙市をつくるために自分の考えを持ちたいです。

**大曲南中学校**

大仙市内の公園等の環境整備の現状と計画はどのようなになっていますか。

**(建設部長)** 大

仙市公園条例に基づいて管理を行っており、101箇所

の公園が、民間委託や市直接での管理となつています。今後は「市民との共同、地域の参画」に力を入れていきます。皆さんの意見を伺う機会を設けますので、積極的に参加をしてください。

**感想文**

質問では、とても緊張しましたが、建設部長さんや市長さんから、詳しく、また分かりやすく答えていただきました。今までの親水公園の取り組み、これからの計画に加えて、私たちも協力できることがあるということが分かりました。

お話ししていただいたことをもとに、

生徒会でも行事やイベントができないかを話し合いたいと思います。そして、私たちの企画した行事やイベントに地域住民の参加を呼びかけて、地域みんなで地域の活性化を図りたいです。さらに、私たちの次の世代の子どもたちのために、美しい地域の自然を守り、また次の世代の子どもたちに守ってもらえるように、私たちの意志を伝えていきたいと思えます。

**平和中学校**

少子高齢化が進んでいます、魅力あるまちづくりを展開するため、若者が働くことの出来る企業の誘致拡大を提案します。

**(農林商工部長)**

企業誘致が実現するには、長い時間の交渉や進出する企業の決断が必要ですが、可能性のある企業訪問や首都圏でのセミナーなどで、大仙市のPRと情報収集に努め、進出を検討する企業に、積極的に働きかけます。

**感想文**

ゆるキャラについては、中学生の斬新なアイデアを期待して

いると言われ、嬉しく思いました。他校の質問では、被災地支援や国際交流、自然についてや交通網、除雪など、多くのことが出されました。それらについて、私たち中学生が先頭になって、これからの大仙市をつくつていかなければいけないという意識がとても高まりました。

最後に市長さんから、ゆるキャラについて、「来年大仙市合併十年を迎えるので、ゆるキャラやシンボルについて、市民に投げかけてみたい」と言っていたら、とてもありがたく思いました。

初めての議場と議会はとても緊張しましたが、とても勉強になることの多い場でした。これからのこのような機会を設けていただければ、私たち中学生もより大仙市のために活動していこうという気持ちが高まると思えました。

▲除雪について質問  
安全な通学路を

## 西仙北中学校

市民バスや乗合タクシーを市民に知ってもらおう工夫やスクールバスの活用についてはどうなっていますか。

## (企画部長)

市の広報やホームページで時刻表や路線図を確認出来るようにしているほか、自治会や老人クラブなどの会合でPRしていきます。また、将来的にスクールバスに余裕ができ、一般の利用ができるかどうかなど効率的、機能的運用の検討が必要になってくると思います。

## 感想文

今回の体験で、なかなか知らなかった、大人が考えるものだと思っていた数々の問題を僕達中学生も、真剣に考えることができました。この体験を通して、大仙市のためになることを僕達中学生も、少しずつではあるけれど、将来のために僕達も積極的に参加して、考えていくべきだと思えました。目先のことにとらわれず、それほど遠くない将来の大仙市のためにも、積極的に意見を出し合うこの議会はとても貴重なものだと思います。最初は資料をつくるのも気が乗らず、おっくうな気持ちでした。しかし、今は参加できたこ

とにより、ほんの少しかもしれないけど、大人の気持ちがわかった気がします。

## 中仙中学校

小・中学生が観光案内板を作成したり、観光案内したり、歌や演奏したり、文化財を積極的に活用することを提案します。

## (生涯学習部長)

活動の一環として、ワッペンやバッチ、看板などを作るとは、大変すばらしい事だと思います。皆さんの活動によって得られる成果を、有効に生かしていきたいと考えています。今後とも積極的な取り組みを期待しています。

## 感想文

中仙中代表として、話し合いに参加してとても責任を感じましたが、自分がこの場で伝えたいこと、聞きたかったことが、自分の口からしっかりと言えたので良かったです。

今回「未来の大仙市は私たちがつくる」というテーマを考え、未来のために、市長さんをはじめいろいろな方々が様々な活動を積極的に行い、少しでも大仙市

の未来を良くしたいという気持ちが伝わりました。僕たちも未来の大仙市のために、今から自分達に出来ることを考えて、実際に地域の人たちと一緒に、大仙市のみんなと、この市を良くしていきたいと思えました。

これから、大仙市のために手助けできるような考えを出して、明るく活気あふれる大仙市をつくっていききたいです。

## 豊成中学校

小・中学生が定期的な一人暮らしのお年寄りの家を訪問する「大仙みまもり隊」をつくることのできないでしょうか。

## (健康福祉部長)

皆さんが「大仙みまもり隊」を作って一人暮らしのお年寄りの家を訪問し、交流と支援をしてくれることは、お年寄りにとって何にも増して心強く感じると思います。予め先生に相談し、また、めた上で、市に相談いただければ、できる限りの協力をしたと考えています。

## 感想文

市長さんや副市長さん、教育委員会の方など、たくさんの方

の前で発表(質問)するのは初めてだったのでかなり緊張しましたが、市役所の人たちがしっかりと答えてくださったので緊張もゆるみました。質問に対しての答えを聞いて、大仙市では、私たちが知らないところで、いろいろなことを行っていることを知り、とても感心しました。また、自分たちが提案したことが実現できるかどうかも答えていただき、参考になりました。

今回めつたにできない経験をさせていたいただいて、学ぶべき点がたくさん見つかりました。このことをこれからの生活に生かしていきたいようながんばりたいと思います。

## 協和中学校

プロスポーツ選手と触れ合う「ころのプロジェクト」「夢の教室」の規模を拡大し、多くの市民に参加してもらいたい。

## (教育指導部長)

小学校から中学校1・2年まで拡大しているほか、実施する学校では各家庭等にもお知らせして、子ども達以外にも参加頂いております。来年度以降も継続する予定で、市民が参加できるように広報活動などに努めます。



▲答弁をする栗林市長

**感想文**

議会で質問や提案をするためには、思った以上に準備することがいろいろありました。しっかりと伝えられるように話し方の練習もしました。本番前は少し緊張しましたが、だからこそやり遂げたときの達成感はとても大きいものでした。

私が一番強く感じたことは、市長さんを始め市役所の方々は、私たち市民のことをとてもよく考えてくれているのだということです。私たちが提案した内容についても、すでに対策がとられているものもありました。市民の目線で一生懸命に様々な取り組みをしていただいていることに感謝したいと思います。

この貴重な経験で学んだことを、まずは自分の学校から伝えていきたいと思っています。

**仙北中学校**

大仙市がよりいっそう美しく、観光客にも喜ばれる街にするため、中学生が中心になって市民みんなでゴミ拾いをするこ

とを提案します。

**(市民部長)** 提案については是非取り組んでみたいと考えています。皆さんから具体的な提案をいただき一緒に対応策を話し合いたいと思います。また、市民総参加の環境美化運動の推進と啓発に努めていきます。

**感想文**

答弁してくださった部長さんの話を聞いて、自分が思っていたより、市では環境保全活動を行っていることを知りました。小中合同クリーンアップや市民参加によるごみ拾いなどをおこなっているようですが、私はそのような活動に参加することがないので、これからは機会を見つけて積極的に参加したいです。また、提案した「中学生が中心となって行う市民一斉クリーンアップデー」についても、実施していただきたいときには、積極的に参加したいです。

**大田中学校**

議会では、自分が質問したことだけでなく、他校の中学生の質疑応答の中にも知らなかったことが沢山あり、勉強になりました。高齢者の安全を確認する事業や雪に対応するシステムなど、今大仙市で行われていることを学んで、今まであまり大仙市のことを知らなかった未熟さと、大仙のことを沢山知ることができた喜びを感じました。

**建設部長**

車道と歩道の両方をしっかりと除雪すること、歩道を整備し、安全な通学路をつくることを要望します。

**(建設部長)** 除雪機械の運転手

は、市民の皆さんの通勤・通学に支障のないよう、限られた時間に一生懸命頑張っています。また、市の職員もパトロールを行いながら、みなさんの安全確保に努めています。

**感想文**

今回、大仙市中学生議会に参加してみても、まず、提案を考えることが大変でした。けれど、その中で地域のことを深く見直すことができました。提案した内容以外にも気づくところがあったので、

**大田中学校**

自分たちでできるところは自分たちで考えてみたいのです。中学生議会の当日は、その雰囲気や圧倒されました。大仙市のことや話し合われている場所や、発言をし、市の職員の方に答えていただくという、とても貴重な体験ができました。

また、自分で発表するだけでなく、他の学校の考えを聞く中でも、たくさん学ぶことがありました。これからは、大田中のこれからの取り組みの参考にしていきたいと考えています。

今回、大仙市中学生議会に参加することができて、本当に良かったです。実際の協議はもちろん、その準備活動の中で、私たちの大仙市について深く見直したり、新しく知ったり、より大仙市が好きになりました。だから、今回感じたことを、できるだけ皆さんの人に伝えていきたいと思っています。



▲真剣に意見や提案をする中学生議員

市民の声

初当選を果した議員さんの初質問と聞き、初めて市議会傍聴席に座った。議場は県、国会と配置は同じく、規模の大小だけの違い。執行部と議員諸氏の入場で、壇上の議長の開会宣言、指名で新人議員の初質問。「おや」と思ったのは、質問は床下に置かれた質問席に座った事であった。質問は、①先の市議会選挙での投票所が極めて遠くなり、高齢者の投票が無理。改革を。②地元雄物川堤防の改修促進を。③地元野球場の改修整備要望等々。日常的に市民と共有する喫緊の問題提起で、新人らしい、さわやかなものであった。唯「おや」と思ったのは、質問者が壇上の議長席に向って、下壇の床下から発言し、終止、傍聴者市民、議員諸氏に背向きで、市長、執行部との質疑応答をする形式についてであった。

議員は市民を代表して、市民の願いを披瀝するのであり、傍聴者、同僚議員に対面が筋では？一考乞う。

神宮寺地区 細谷 昭雄

大仙市を愛するひとりとして、意見を述べさせていただきます。協働の街づくりを全市民で考え、他市町村に誇れる「大仙市」にするために、市役所等に「目安箱」を設置し、市長、支所長へ手紙で、ご意見を拝聴したらどうでしょうか。また、ワークショッブなどで提案して頂く方法もあるかと思えます。「だいせん日和」を県内外の市出身者の方に送付する工夫もしていただきたいものです。ふるさとの情報を待ち望んでいる方々もたくさんいらっしゃいます。「ふるさと納税者」になってくれるかもしれませんよ。希望する皆さんに「大仙市観光大使」を担って貰ってはいかがでしょう。市役所役職員の皆様にお願いがあります。大仙市のメッセンジャーとして自信と誇りをもってお仕事に励んでくださるようお願い致します。あなたも納税者、一市民協働の街づくりの一員なのですから、私達もそれぞれの置かれた位置で応援し、行動していきます。

南外地域 佐藤 一男

大仙市の歴史巡り (大曲地域)



角間川

角間川は雄物川と横手川の合流点、さらに平鹿郡と仙北郡の境界に位置し、両河川を支配出来ると共に、雄物川中流の川港として両郡の物資の集散上の地理的条件など、発展のための重要な要件を備えた土地であった。

水運の便に恵まれた角間川には、物資の船着き場が設けられ、経済上極めて重要な場所となり、特に明治中期以降は盛況をみせ、当時村でありながら町の機能を果たし、商人を生み、大地主形成の地盤となった。当時の大地主の繁栄を今も残る、本郷家、荒川家、北島家に見ることができる。街道に面した黒板塀を巡らせ、広大な屋敷の中の木々は、今でも明治の時代を感じさせる。

石田秀雄 記

大仙市の花巡り



協和地域の荒川鉦山跡地近くの鉦山資料や、荒川鉦山出身の作家、松田解子記念室がある「大盛館」の館外に「おりん口伝」文学碑があります。大盛館のある集落「牛沢又集落」のみなさんが市の「がんばる集落」活性化支援事業を活用した花植え作業により、石碑の周辺をたくさんのお花で飾っています。

編集後記

新体制となった編集委員会、執行当局の提案に即応した感のある12月議会は新人議員にとつて、あつという間であったように思います。議会報は今までの手法を踏まえながらも、編集は字を大きく、写真も多用し、議案に対する賛否一覽を掲載する事など編集方針としました。

昨年12月、45年ぶりに開催した『大いなる秋田大演奏会』での中村会長のごあいさつの中で「市民の皆さんに少しでも勇気を与え踏み出す力になれば」との思いを語っておられました。参加した一人として、今度は編集を通して市民の皆様が「感じて動く」ことができれば、などと思いをめぐらしました。今号の「中学生議会」、未来を背負う「たのもしい力」は確実に育っています。

さあ「みんなでみんなですすもうよ」。

編集副委員長 細谷洋造



- 本間輝男 委員
- 佐藤育男 委員
- 後藤 健 委員
- 茂木 隆 委員長
- 細谷洋造 副委員長
- 秩父博樹 委員
- 佐藤文子 委員
- 古谷武美 委員